

上場会社名 電気化学工業株式会社
 コード番号 4061 URL <http://www.denka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉高 紳介
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 大町 徹夫

TEL 03-5290-5532

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	86,856	△0.7	2,890	△44.9	2,638	△54.0	2,025	△50.6
26年3月期第1四半期	87,511	6.4	5,245	13.8	5,734	58.9	4,096	72.0

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 2,540百万円 (△56.5%) 26年3月期第1四半期 5,846百万円 (311.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	4.40	—
26年3月期第1四半期	8.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	431,521	187,129	42.9	404.54
26年3月期	431,347	189,516	43.5	402.77

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 185,245百万円 26年3月期 187,657百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	5.00	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成26年8月7日)公表いたしました「平成27年3月期配当予想の修正(創立100周年記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	192,000	5.9	10,500	0.2	9,500	△10.8	7,000	△6.1	15.02
通期	400,000	6.2	25,000	17.8	23,500	14.1	18,000	32.6	38.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	465,954,121 株	26年3月期	481,883,837 株
27年3月期1Q	8,036,890 株	26年3月期	15,964,265 株
27年3月期1Q	460,584,796 株	26年3月期1Q	472,387,458 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
平成27年3月期 第1四半期決算概要	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、消費税率引上げ前の駆け込み需要の反動により、個人消費や住宅投資に弱い動きが見られたものの、全体としては緩やかな回復基調が続きました。

このような経済環境のもと、当社グループは業容の拡大と収益の確保に注力いたしましたが、販売面では、電子・先端プロダクツ製品の需要が回復した一方で、健康分野製品の一時的な出荷減があり、売上高は868億56百万円と前年同期に比べ6億54百万円(0.7%)の減収となりました。収益面では、原燃料や電力価格の上昇に対して販売価格への転嫁が遅れたほか、定期修繕の実施に伴う費用増や研究開発費の増加などがあり、営業利益は28億90百万円(前年同期比23億54百万円減、44.9%減益)、経常利益は26億38百万円(前年同期比30億96百万円減、54.0%減益)、四半期純利益は20億25百万円(前年同期比20億71百万円減、50.6%減益)となりました。

<エラストマー・機能樹脂部門>

当部門の売上高は389億76百万円と前年同期に比べ4億92百万円(1.3%)の増収となりました。

クロロプレンゴムは販売数量が前年同期を上回り、デンカシンガポール社のポリスチレン樹脂等も販売数量が増加し増収となりましたが、スチレンモノマーは定期修繕を実施した影響により販売数量が減少し減収となりました。

<インフラ・無機材料部門>

当部門の売上高は106億40百万円と前年同期に比べ4億93百万円(4.4%)の減収となりました。

特殊混和材は販売数量が増加し増収となりましたが、セメントや肥料等は販売数量が減少し減収となりました。

<電子・先端プロダクツ部門>

当部門の売上高は112億61百万円と前年同期に比べ6億22百万円(5.8%)の増収となりました。

電子部品・半導体搬送資材用の機能フィルムやLED用サイアロン蛍光体“アロンブライト”は販売数量が増加し増収となり、電子回路基板も電鉄向けを中心に需要が増加し増収となりました。一方で、半導体封止材用球状溶解シリカフィラーは需要が伸び悩み減収となりました。

<生活・環境プロダクツ部門>

当部門の売上高は160億35百万円と前年同期に比べ13億16百万円(7.6%)の減収となりました。

プラスチック雨どいや工業用テープは販売数量が増加し増収となり、農業・土木用コルゲート管の販売は前年同期並みとなりましたが、合繊かつら用原糸“トヨカロン”の販売は前年同期を下回りました。

医薬品では、関節機能改善剤(高分子ヒアルロン酸製剤)は販売数量が減少し減収となり、デンカ生研株式会社の試薬の販売も前年同期を下回りました。

<その他部門>

当部門の売上高は99億41百万円と前年同期に比べ40百万円(0.4%)の増収となりました。

株式会社アクロス商事等の商社は取扱量が前年同期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億74百万円増加の4,315億21百万円となりました。流動資産は、たな卸資産の増加などにより前連結会計年度末に比べ16億83百万円増加の1,664億30百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の減価償却などにより前連結会計年度末に比べ15億8百万円減少の2,650億91百万円となりました。

負債は、有利子負債の増加などにより前連結会計年度末に比べ25億61百万円増加の2,443億92百万円となりました。

少数株主持分を含めた純資産は前連結会計年度末に比べ23億86百万円減少して1,871億29百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の43.5%から42.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月9日に公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が4億90百万円減少し、利益剰余金が3億17百万円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,427	13,978
受取手形及び売掛金	83,701	76,113
商品及び製品	41,989	44,403
仕掛品	2,554	4,326
原材料及び貯蔵品	18,272	17,906
繰延税金資産	1,906	2,402
その他	8,201	7,621
貸倒引当金	△305	△323
流動資産合計	164,747	166,430
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	53,835	55,023
機械装置及び運搬具(純額)	80,815	78,115
工具、器具及び備品(純額)	2,612	2,525
土地	62,796	62,799
リース資産(純額)	338	353
建設仮勘定	11,384	10,079
有形固定資産合計	211,783	208,895
無形固定資産		
特許権	567	529
ソフトウェア	542	518
その他	189	187
無形固定資産合計	1,299	1,235
投資その他の資産		
投資有価証券	46,562	48,154
長期貸付金	821	843
繰延税金資産	1,039	1,005
その他	5,155	5,000
貸倒引当金	△61	△43
投資その他の資産合計	53,517	54,960
固定資産合計	266,599	265,091
資産合計	431,347	431,521

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,238	50,001
短期借入金	45,501	47,510
コマーシャル・ペーパー	10,000	18,000
1年内返済予定の長期借入金	4,504	4,509
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払法人税等	3,927	1,497
未払消費税等	445	432
繰延税金負債	12	1
賞与引当金	2,428	4,397
その他	37,586	34,383
流動負債合計	163,645	165,735
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	30,663	30,790
繰延税金負債	3,478	3,981
再評価に係る繰延税金負債	9,609	9,609
退職給付に係る負債	8,531	8,368
その他	903	907
固定負債合計	78,185	78,656
負債合計	241,831	244,392
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,284	49,284
利益剰余金	89,562	84,373
自己株式	△4,951	△2,625
株主資本合計	170,894	168,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,640	9,502
土地再評価差額金	9,065	9,065
為替換算調整勘定	479	24
退職給付に係る調整累計額	△1,422	△1,377
その他の包括利益累計額合計	16,762	17,214
少数株主持分	1,858	1,884
純資産合計	189,516	187,129
負債純資産合計	431,347	431,521

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	87,511	86,856
売上原価	68,797	69,490
売上総利益	18,713	17,366
販売費及び一般管理費	13,468	14,475
営業利益	5,245	2,890
営業外収益		
受取利息	12	16
受取配当金	351	567
持分法による投資利益	167	76
為替差益	703	—
その他	76	59
営業外収益合計	1,310	720
営業外費用		
支払利息	258	230
為替差損	—	243
その他	563	498
営業外費用合計	822	973
経常利益	5,734	2,638
税金等調整前四半期純利益	5,734	2,638
法人税、住民税及び事業税	1,610	568
少数株主損益調整前四半期純利益	4,124	2,069
少数株主利益又は少数株主損失(△)	27	44
四半期純利益	4,096	2,025

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,124	2,069
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	558	859
為替換算調整勘定	1,208	△462
退職給付に係る調整額	—	45
持分法適用会社に対する持分相当額	△43	29
その他の包括利益合計	1,722	471
四半期包括利益	5,846	2,540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,801	2,476
少数株主に係る四半期包括利益	44	63

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および株主価値の向上を図るため、平成26年5月9日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において自己株式の取得および消却を行っております。

(自己株式の取得)

当第1四半期連結累計期間において自己株式が28億77百万円増加しております。

(自己株式の消却)

平成26年5月14日に自己株式の消却を行い、当第1四半期連結累計期間において自己株式が52億2百万円、資本剰余金が0百万円、利益剰余金が52億2百万円それぞれ減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エラスト マー・機 能樹脂	インフ ラ・無機 材料	電子・先 端プロダ クツ	生活・環 境プロダ クツ	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	38,484	11,134	10,639	17,352	77,610	9,900	87,511	—	87,511
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	16	3	—	2	21	1,457	1,479	(1,479)	—
計	38,500	11,137	10,639	17,354	77,632	11,358	88,990	(1,479)	87,511
セグメント 利益	1,734	1,071	629	1,638	5,074	170	5,245	0	5,245

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去0百万円によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位:百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	58,321	21,387	7,801	29,189	87,511
連結売上高に占める割合(%)	66.6	24.4	8.9	33.4	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エラスト マー・機 能樹脂	インフ ラ・無機 材料	電子・先 端プロダ クツ	生活・環 境プロダ クツ	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	38,976	10,640	11,261	16,035	76,915	9,941	86,856	—	86,856
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	41	9	—	2	52	1,337	1,389	(1,389)	—
計	39,017	10,649	11,261	16,038	76,967	11,278	88,246	(1,389)	86,856
セグメント 利益	611	567	978	533	2,691	211	2,902	(11)	2,890

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△11百万円は、セグメント間取引消去△11百万円によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位:百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	54,181	23,719	8,955	32,675	86,856
連結売上高に占める割合(%)	62.4	27.3	10.3	37.6	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

4. 補足情報

平成27年3月期 第1四半期決算概要

平成26年8月7日
電気化学工業株式会社

1. 業績の概要

【総括（進捗度・当初予想比）】

・当第1四半期実績は、一時的な要因もあり、当初予想に対する事業毎の進捗度に差がありましたが、上期通期ではほぼ想定どおりを見込んでおります。

【セグメント別状況（第1四半期前年同期比・第2四半期見通し）】

- ・エラストマー・機能樹脂部門は、クロロプレンゴムやスチレン系樹脂の販売数量が増加しましたが、スチレンモノマーの隔年定修や原燃料価格、電気代等のコストアップに対する価格転嫁の遅れなどにより、前年同期比で増収減益となりました。
- ・インフラ・無機材料部門は、特殊混和材が数量を伸ばしましたが、セメントや肥料の販売数量が減少し、前年同期比で減収減益となりました。第2四半期は特殊混和材やセメントを中心とした出荷増による増益を見込んでおります。
- ・電子・先端プロダクツ部門は、全般的な需要の回復を受け、機能フィルムや蛍光体、電子回路基板の販売が増加し、前年同期比で増収増益となりました。第2四半期もこれらの製品の好調が続くと見込んでおります。
- ・生活・環境プロダクツ部門は、健康分野製品の関節機能改善剤や試薬が一時的な要因により出荷減となり、合繊やDXフィルムの販売も低調だったため、前年同期比で減収減益となりました。第2四半期は、試薬の出荷増に加えてインフルエンザ関連製品が需要期に入るほか、DXフィルムや合繊も回復し、増益を見込んでおります。

【業績】

(単位:億円)

	平成27年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	平成26年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	増 減	平成27年3月期 第2四半期予想 (4-9月)	平成27年3月期 年度予想 (4-3月)
売上高	869	875	△ 7	1,920	4,000
営業利益	29	52	△ 24	105	250
経常利益	26	57	△ 31	95	235
当期純利益	20	41	△ 21	70	180

2. セグメント別 連結売上高・営業利益

(単位:億円)

		平成27年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	平成26年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	増 減	平成27年3月期 第2四半期予想 (4-9月)	平成27年3月期 年度予想 (4-3月)
エラストマー・ 機能樹脂	売上高	390	385	5	840	1,740
	営業利益	6	17	△ 11	20	40
インフラ・ 無機材料	売上高	106	111	△ 5	250	520
	営業利益	6	11	△ 5	20	45
電子・先端 プロダクツ	売上高	113	106	6	250	500
	営業利益	10	6	3	25	50
生活・環境 プロダクツ	売上高	160	174	△ 13	380	840
	営業利益	5	16	△ 11	35	105
その他	売上高	99	99	0	200	400
	営業利益	2	2	0	5	10
消去差	売上高	-	-	-	-	-
	営業利益	△ 0	0	△ 0	-	-
合 計	売上高	869	875	△ 7	1,920	4,000
	営業利益	29	52	△ 24	105	250

3. 参考数値・前提

(単位:億円)

	平成27年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	平成26年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	増 減	平成27年3月期 第2四半期予想 (4-9月)	平成27年3月期 年度予想 (4-3月)
	設備投資額	32		54	△ 22
減価償却費	57	54	3	110	230
研究開発費	29	26	3	57	114
有利子負債残高	1,308	1,262	46	1,300	1,250

	平成27年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	平成26年3月期 第1四半期実績 (4-6月)
為替レート [円/\$]	102.2	98.8
国産ナフサ [円/kl]	70,100	65,500

4. セグメント別 連結売上高増減内訳

(単位:億円)

	売 上 高				
	平成27年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	平成26年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	増 減	販売価格差	数量差
	エラストマー・機能樹脂	390			
インフラ・無機材料	106	111	△ 5	1	△ 6
電子・先端プロダクツ	113	106	6	△ 1	8
生活・環境プロダクツ	160	174	△ 13	2	△ 15
そ の 他	99	99	0	-	0
合 計	869	875	△ 7	17	△ 24

5. セグメント別 連結営業利益増減内訳

(単位:億円)

	営 業 利 益					
	平成27年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	平成26年3月期 第1四半期実績 (4-6月)	増 減	販売価格差	数量差	コスト差等
	エラストマー・機能樹脂	6				
インフラ・無機材料	6	11	△ 5	1	△ 2	△ 4
電子・先端プロダクツ	10	6	3	△ 1	11	△ 6
生活・環境プロダクツ	5	16	△ 11	2	△ 10	△ 3
そ の 他	2	2	0	-	1	△ 0
消 去 差	△ 0	0	△ 0	-	-	△ 0
合 計	29	52	△ 24	17	2	△ 43